

水産機械の技術指導関係

(イ) 電気機器取扱講習

場 所	日 時	講 習 項 目	講 師	出席 人員	備 考
薩摩郡里村里	自昭32.2.3 至 " 2.4	○電気の原理 ○機械取扱注意 ○故障診断 ○質疑応答	日本無線鹿児島出張所 長谷川幡尊	22名	

(ロ) 漁船発動機関係取扱講習会

場 所	日 時	講 習 項 目	講 師	出席 人員	備 考
鹿屋市古江	自昭32.1.21 至昭32.1.25	○漁船機関の原 理取扱方法に ついて ○故障診断 ○質疑応答	鹿児島大学水産学部 かごしま丸機関長 北村千里	18名	
薩摩郡里村里	自昭32.1.29 至昭32.2.3	同 上	敬天丸 機関長 山之内正徳 かごしま丸三等機関士 中釜 勉	33名	
川辺郡坊之津 町久志	自昭32.2.8 至昭32.2.11	同 上		11名	ヨコア漁最盛 期のため出席 は少なかつた

昭和31年先進地視察概要

◎主 旨

先進地の業態を漁村青年、漁協役職員市町村職員に体得させることは行詰
つた沿岸漁村振興上意義あること、考へ実施した。

- (一) 視察場所 宮崎県 大堂津、門川漁協
大分県 佐賀関町漁協
愛媛県 遊子、安蒲地、各漁協
高知県 清水、手結、高知市各漁協
- (二) 期 日 昭和31年7月21日鹿児島港発

昭和31年8月30日鹿児島入港

- (三) 使用船 試験船 照南丸 98屯 300馬力
(四) 視察人員 鹿児島県水産試験場 西田場長外5名
 〃 漁政課 1名
 市町村職員 4名
 漁協関係者 14名

定置網漁場調査

又木勝弘

※調査目的

過去3年間に於いて散発的ではあつたがこの種の調査を行つて来た。そして比較的よい効果を挙げて来たことも事実である。本年度はこの調査を或る程度組織的、永続的に試みて確たる効果を追及しよとした。

そしてその効果次第によつては県下百数十統の定置網に及ぼし本漁業発展のために精力的努力を傾けようとするのが狙いであつた。先づ手始めに本県定置網漁業で最も活気を持つと思われる内之浦灣の調査を試みた

※調査地

肝付郡内之浦町

※調査対象

落、網、(主として中、小型)地曳網漁場、海藻繁茂地調査及び潜水講習

※調査船

潜水調査船さぶなみ 25ts ヤンデージェル11HP 潜水器、ナルギール(エヤーコンプレッサー付)及アクアラング

※調査期間

自8月4日 至8月25日

※調査員

本水試 又木、山之内
内之浦漁協 東泊俊行、東泊俊哉